



2025年5月9日

各 位

会 社 名 株式会社バッファロー

代表者名 代表取締役 社長執行役員 坂本 裕二

(コード：3352、東証スタンダード市場)

問合せ先 取締役 常務執行役員管理本部長 日下部 直喜

(TEL. 048 - 227 - 8860)

特別損失（個別決算）の計上および 個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の個別決算におきまして、下記のとおり、特別損失を計上いたします。また、個別業績において前期実績値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

関係会社貸倒引当金繰入額（個別決算）

連結子会社である株式会社バッファローフードサービスの財政状態は債務超過が継続しており、同社に対する関係会社長期貸付金について、回収可能性の検討を実施し貸倒引当金 150 百万円を計上いたしました。なお、関係会社貸倒引当金繰入額は個別決算のみに計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

2. 2025年3月期 個別業績と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A） （2024年3月期）	百万円 10,567	百万円 509	百万円 561	百万円 114	円 銭 49.07
当期実績（B） （2025年3月期）	11,037	616	666	348	148.76
増減額（B－A）	469	107	104	233	
増減率（%）	4.4%	21.1%	18.7%	203.2	

（差異の理由）

車両メンテナンス需要の増加を背景にオイル・バッテリーが好調となり、特に、オートボックスWeb予約システムによるオイル交換即日予約を利用されるお客様の増加が継続しております。また、関連してタイヤ・ホイールも夏用タイヤ・冬用タイヤともに好調であったことから、増収・増益につながっております。なお、前事業年度は当期を上回る特別損失を計上していたことから、当期純利益についても増収となっております。

（注）上記の予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上